

私たちはお客様に
安心品質をお届けします。

wellco
株式会社 ウイルコホールディングス

第39期 事業報告書
(平成28年11月1日 ~ 平成29年10月31日)

目次

第39回定時株主総会決議ご通知	1
株主の皆様へ	2
事業内容の紹介	3-5
主要な連結経営指標等の推移	6
連結財務諸表	7-8
個別財務諸表	9
会社概要／株式情報	10

株 主 各 位

平成 30 年1月 25 日

石 川 県 白 山 市 福 留 町 370 番 地
株式会社ウイルコホールディングス
代表取締役会長兼社長 若林 裕紀子

第 39 回定時株主総会決議ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本日開催の当社第 39 回定時株主総会において、下記のとおり報告並びに決議されましたので、ご通知申し上げます。

敬 具

記

報告事項

1. 第 39 期（自 平成 28 年 11 月 1 日 至 平成 29 年 10 月 31 日）
事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査等委員会の連結計算書類監査結果報告の件
2. 第 39 期（自 平成 28 年 11 月 1 日 至 平成 29 年 10 月 31 日）
計算書類報告の件
本件は、上記の内容を報告いたしました。

決議事項

第 1 号議案 剰余金の処分の件

本件は、原案どおり承認可決され、期末配当金については 1 株あたり 4 円とすることに決定いたしました。

第 2 号議案 定款一部変更の件

本件は、原案どおり承認可決され、複数の代表取締役の選定を視野に、株主総会の運営に柔軟性を持たせるため、株主総会の招集権者及び議長に関する定めを変更することに決定いたしました。

第 3 号議案 取締役（監査等委員である取締役を除く。） 6 名選任の件

本件は、原案どおり承認可決され、取締役（監査等委員である取締役を除く。）に若林裕紀子、若林圭太郎、大槻健、西村保彦、山本実、金井行雄の 6 名が選任され、それぞれ就任いたしました。

以上

// 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社グループの第39期(平成28年11月1日～平成29年10月31日)が終了いたしましたので、事業の概況をご報告申し上げます。

1. 当期の業績の概況

当連結会計年度(平成28年11月1日～平成29年10月31日)の我が国経済は、2017年7-9月期のGDP成長率が、年率換算で実質2.5%増と7四半期連続でプラス成長となりました。海外経済の緩やかな回復を背景に、輸出及び設備投資も持ち直し、個人消費にもやや明るさが見えるなど全体として緩やかな回復基調が続いております。

当社グループを取り巻く環境は、テレビ・新聞・雑誌・ラジオなど既存の広告媒体が伸び悩む中、インターネットやスマホを活用した広告は堅調な伸びを見せております。この傾向の下、紙媒体による広告の需要は引き続き減少しております。このような環境ではありますが、大手製紙各社の用紙値上げや人手不足に伴う人件費の上昇等により、製造原価は上昇傾向にあります。また、求人広告においても同様に、紙媒体の有料・無料求人情報誌及び新聞折込求人紙は減少する一方で、ネットによる求人広告は増加が続いております。

このような環境の中、情報・印刷事業におきましては、シール製品やポップアップ等当社独自のセールスプロモーション関連製品の売上は伸び、新たに書籍印刷の売上が加わりましたが、チラシ等の従来型製品の売上が減少したことに加え、今期より稼働したデジタル印刷機に関する売上が、大口顧客との交渉の長期化により当初想定を下回ったこと等もあり、セグメント売上高は105億6千8百万円(前年同期比1.0%減)の減収となりました。利益面では、売上高の伸び悩み、従来型製品における粗利率の低下や当社独自製品開発のための先行的設備投資による減価償却費の増加等により、セグメント利益は2億6千7百万円(前年同期比40.5%減)と減益になりました。

メディア事業につきましては、紙媒体広告の減少に対応するため、各種インターネットメディアの拡充を実施していますが、紙媒体広告売上の減少をカバーするにいたりませんでした。その結果、セグメント売上高は23億4千9百万円(前年同期比6.3%減)、セグメント利益は8千万円の損失(前年同期2千9百万円の利益)となりました。

知育事業につきましては、事務所移転により家賃等が増加するなどの要因はありましたが、主力商品である「音の出る絵本」が新刊需要、重版需要ともに堅調であり、新商材として市場に導入したスクラッチアートも出足が好調で引き合いも広がり始めております。また、2月に「自由価格本」販売のための子会社を設立し、書店以外の販路開拓による市場拡大に成果を出しつつあります。その結果、セグメント売上は概ね順調に推移しました。また、外注費等の経費削減は効果が始まったことに加え、為替予約によるリスクマネジメント効果もあり、結果としてセグメント売上高は33億8百万円、セグメント利益は1億9千2百万円となりました。なお、知育事業は前期第4四半期より開始したため前年比較は行っておりません。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は154億4千9百万円(前年同期比19.7%増)となりましたが、業務効率化のため都内のグループ会社の4事業所を九段下に移転・集約のための一時的費用等の発生もあり、営業損失は4千8百万円(前年同期は営業利益1億9百万円)、経常損失は3千

6百万円(前年同期は経常損失3千5百万円)、子会社における受取和解金3億8千万円の特別利益の計上等により、親会社株主に帰属する当期純利益は3億5千万円(前年同期比359.4%増)となりました。

2. 当期・次期の配当について

当社は事業拡大や経営体質の強化を図るために必要な資金を内部留保しつつ、安定した配当を継続して行うことを基本方針としております。

当期の配当につきましては、1株あたり4円としております。

なお、次期の配当につきましては、経営環境、業績見通し等を勘案し、引き続き、1株あたり4円を予定しております。

当社では収益の改善に努め、継続的に利益を確保できる企業体質を目指してまいりますので、株主の皆様にはご理解を賜りますようお願い申し上げます。

3. 今後の見通しについて

今後の見通しにつきましては、国内経済は引き続き緩やかに回復するものと思われる。このような環境の中、当社グループは、主力の情報・印刷事業におきまして、デジタル印刷設備を活かしたバリアブルDMなどの小ロット印刷対応を行い、提案型営業を推進してまいります。また、出版印刷分野における新たな業容拡大を図ってまいります。更に、知育事業におきましては、新規企画の展開により利益の拡大を図り、全体として通期の売上及び利益の向上を図ってまいります。

以上により、次期(平成30年10月期)の連結業績は、売上高180億円、営業利益3億5千万円、経常利益3億3千万円、親会社株主に帰属する当期純利益2億円を見込んでおります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年1月

株式会社 **ウイルコホールディングス**
代表取締役会長兼社長 **若林 裕紀子**

情報・印刷事業

- 販売促進企画
- 商業印刷
- 出版印刷

お客様とともに「最良」を創り上げる追求心

顧客価値の高いオリジナル製品は、お客様のご要望を形にする過程で生まれたものがほとんどです。

「お客様にとって"最良"の製品」をモットーに、デザイン制作から印刷、加工まですべての工程において今まで以上の製品を目指し、業務にあたっています。

国内屈指の最新鋭設備

輪転機と加工機を直結することにより最終製品まで仕上げるインライン・フィニッシング・システムをはじめ、小ロット多品種の大量可変印刷に対応するデジタル設備の導入など、最新鋭の機械設備によって、印刷に関する様々なニーズに応えます。

ユニークでギミックが効いた製品ラインナップ

開く・めくる・はがす、紙ならではのギミックを効かせた製品ラインナップは、受け取った方が思わず「アクションを起こしたくなる」工夫が満載です。これらのオリジナル製品を通じて、開封率やレスポンス率を高める効果的な販促ソリューションをお客様に提供します。

充実したクリエイティブ体制

消費者を引き付ける販促促進ツールを提供するため、40名を超えるクリエイティブスタッフが効果的な企画立案からデザイン編集までお客様をサポートします。書籍出版のための組版スタッフも充実しています。また社内撮影スタジオでの専属カメラマンによる撮影、Webクリエイターによるデジタルコンテンツなど幅広いニーズに対応しています。

環境にやさしい製品の推進

剥離紙(台紙)をなくしてゴミを減らす「ライナーレスラベル」や「ごみゼロラベル」、針金を使わない糊付け製本の「グルー製本」など、環境対策型製品の提供・普及に努めています。また、印刷工程においても「水なし印刷」を推進し、環境へ配慮しています。



魔法のペーパークラフト®

従来品とは異なるハサミも糊も不要な新しいペーパークラフトです。無駄なゴミが出ず道具も不要なため、小さなお子様でも手軽に組み立てることができ、裏面や台紙にも印刷が可能なので細かい部分にこだわったクオリティの高いアイテムを造ることができます。イベントグッズとしての配布など様々な使い方ができます。



魔法のシール®

開くと中に折り込んだ部分が起き上がり、立体的な紙面を形成します。またブック内のシールは両面印刷ができ、折り加工を施すことにより、シールを立たせることも可能です。シールの台紙部分にも印刷が可能なので、剥がした後に何が隠れているかめくる楽しみを演出することもできます。

動画もCHECK!



メディア事業

■ 無料情報誌の発行

地域密着の無料情報誌

ばどの基本的コンセプト「地域密着」を軸に、地域の人々の声を、また、地域の事業者様の広告を地域の人々に発信する紙媒体としての機能を果たしています。

人材ソリューション事業

地域に根ざした情報を、紙、IT、そして合同就職イベント等多様なメディアを駆使しながらお届けし、企業と求職者のマッチングを図っています。

IT媒体

紙媒体とIT媒体との相乗効果により来客促進を図るために、スマホを活用した新サービスを展開しています。

トピックス

寝屋川市と「包括連携協定」を締結しました。

大阪府、大阪市に続き、平成29年11月22日、寝屋川市と包括連携協定を結びました。これまで以上にお互いの知恵、情報、技術を共有し、市の魅力、防災、子育てなど多分野にわたる情報を発信し、市民サービスの向上と地域の活性化を図ってまいります。



知育事業

- 音のでる絵本、教育玩具の企画販売
- 雑誌等の付録・販促用景品の企画販売

子どもたちに夢を与える絵本

いまや全国的に認知度の高い『音のでる絵本』。本物と同じ絶対音階で演奏できる『ピアノ絵本』をはじめ、たいこや木琴、マラカスなどをモチーフとした楽器絵本の数々、ひらがなや英語を学べるといった知育本も人気があります。



成長につながる楽しいおもちゃ

教育玩具は、遊びだけでなく学習効果を期待されています。小さなお子さまでも安全に使える、操作が簡単、親しみやすい、といった数々の条件をクリアさせながら、学びのための製品をお客様とともに作り上げていきます。



新規商材、高齢者向け商品の拡充

『音のでる絵本』などモジュール付き商品にとどまらず、『スクラッチアート』『ウレタンえほん』などの新商材、豪華版カラオケモジュール本など高齢者向け商品の拡充を行なっています。黒い面を付属のペンで削ると鮮やかな色が現れる『スクラッチアート』はヒット商品になりました。



ウイル・コーポレーション オープンハウスが開催されました。

平成29年6月15日(木)、16日(金)に、当社の画期的設備とデジタル事業を紹介する「ウイル・コーポレーション オープンハウス」が、グランドホテル白山および当社北國工場にて開催されました。このイベントは、当社と株式会社日本HPが主催で、メディア関係者、出版事業者、広告代理店、印刷事業者等、計158名を招待し、関係者の皆さまのご協力のもと、大変な高評価を得て終えることができました。

当社から発信されたメッセージの要旨は、以下のとおりです。

- ①デジタル印刷機 T 490HD を始めとするデジタル印刷製本ラインの紹介について（取引先様との相互発展）
- ②一人ひとりの趣味、嗜好に合わせ、小ロット～大ロットの発注対応が可能になり、新たな無限のニーズが開拓できる「市場性」について
- ③創業期の輪転印刷体制からデジタル印刷体制へ移行する「第二の創業期」であること
- ④開発スタッフ数、設備アップデート機能やノウハウ等の点で他社を追随させない当社の「競合優位性」について

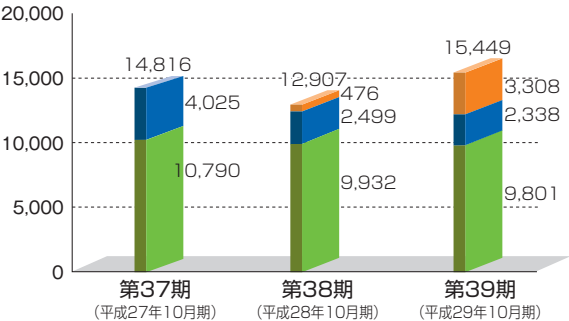
50期ビジョンである「世界最高峰のデジタルプリンティングカンパニーになる」ために、社員一同、各々の役割を加速させてまいります。



// 主要な連結経営指標等の推移

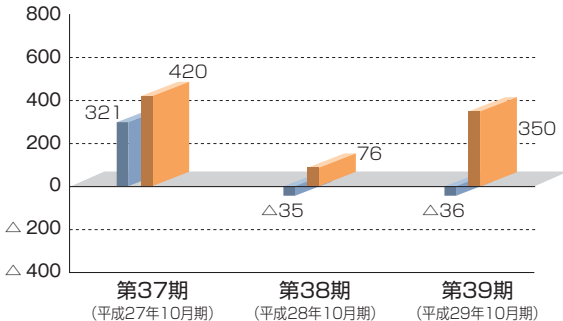
売上高

(単位:百万円) 情報・印刷事業 メディア事業 知育事業



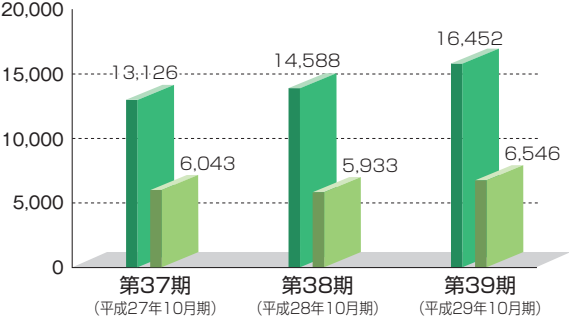
経常利益(△は経常損失)／親会社株主に帰属する当期純利益

(単位:百万円) 経常利益(△は経常損失) 親会社株主に帰属する当期純利益



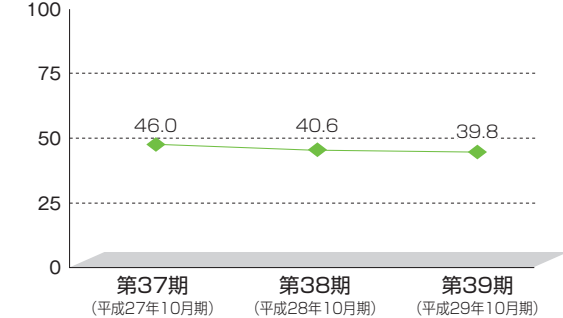
総資産額／純資産額

(単位:百万円) 総資産額 純資産額



自己資本比率

(単位:%) 自己資本比率



(ご参考)

	当連結会計年度	前連結会計年度	前年同期比	増減率
情報・印刷事業	9,801	9,932	△ 130	△ 1.3%
メディア事業	2,338	2,499	△ 160	△ 6.4%
知育事業	3,308	476	—	—
売上高	15,449	12,907	2,541	19.7%
情報・印刷事業	267	449	△ 182	△ 40.5%
メディア事業	△ 80	29	△ 109	△ 370.3%
知育事業	192	34	—	—
セグメント利益	379	513	△ 133	△ 26.0%
全社費用	427	403	24	6.0%
営業利益	△ 48	109	△ 157	△ 143.8%

(注) 知育事業は前期第4四半期より開始したため前年比較を行っておりません

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度末 平成29年10月31日現在	前連結会計年度末 平成28年10月31日現在
資産の部		
流動資産	8,506	7,835
現金及び預金	3,577	3,375
受取手形及び売掛金	3,416	3,479
商品及び製品	341	336
仕掛品	120	116
原材料及び貯蔵品	314	218
繰延税金資産	5	7
その他	748	378
貸倒引当金	△ 19	△ 78
固定資産	7,946	6,753
有形固定資産	5,720	4,707
建物及び構築物	1,257	1,151
機械装置及び運搬具	837	660
土地	2,175	2,180
リース資産	1,388	595
建設仮勘定	6	78
その他	55	40
無形固定資産	508	538
のれん	448	508
その他	59	29
投資その他の資産	1,717	1,507
投資有価証券	1,186	998
長期貸付金	146	86
破産更生債権等	37	50
繰延税金資産	—	7
その他	456	435
貸倒引当金	△ 109	△ 70
資産合計	16,452	14,588

科 目	当連結会計年度末 平成29年10月31日現在	前連結会計年度末 平成28年10月31日現在
負債の部		
流動負債	5,132	5,134
支払手形及び買掛金	1,565	1,767
電子記録債務	1,292	1,283
短期借入金	550	604
1年内返済予定の長期借入金	630	518
リース債務	218	110
未払金	528	484
未払法人税等	41	35
預り金	13	13
返品調整引当金	32	19
賞与引当金	92	110
設備関係支払手形	9	19
その他	157	166
固定負債	4,773	3,520
長期借入金	2,600	2,222
リース債務	1,285	540
退職給付に係る負債	464	463
繰延税金負債	358	270
資産除去債務	29	19
その他	34	4
負債合計	9,905	8,655
純資産の部		
株主資本	6,417	6,140
資本金	1,667	1,667
資本剰余金	1,759	1,759
利益剰余金	2,994	2,717
自己株式	△ 4	△ 4
その他の包括利益累計額	125	△ 210
その他有価証券評価差額金	200	△ 78
繰延ヘッジ損益	—	5
為替換算調整勘定	△ 76	△ 100
退職給付に係る調整累計額	1	△ 37
非支配株主持分	3	3
純資産合計	6,546	5,933
負債及び純資産合計	16,452	14,588

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度	前連結会計年度
	平成28年11月1日から 平成29年10月31日まで	平成27年11月1日から 平成28年10月31日まで
売上高	15,449	12,907
売上原価	12,194	10,008
売上総利益	3,254	2,899
販売費及び一般管理費	3,302	2,789
営業利益又は営業損失 (△)	△ 48	109
営業外収益	153	90
営業外費用	141	235
経常損失 (△)	△ 36	△ 35
特別利益	507	141
特別損失	39	8
税金等調整前当期純利益	431	97
法人税等	80	23
当期純利益	350	74
非支配株主に帰属する当期純損失 (△)	—	△ 1
親会社株主に帰属する当期純利益	350	76

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度	前連結会計年度
	平成28年11月1日から 平成29年10月31日まで	平成27年11月1日から 平成28年10月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	444	405
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 501	△ 97
財務活動によるキャッシュ・フロー	220	57
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 2	△ 50
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	161	314
現金及び現金同等物の期首残高	2,817	2,502
現金及び現金同等物の期末残高	2,978	2,817

連結株主資本等変動計算書 (平成 28 年 11 月 1 日から平成 29 年 10 月 31 日まで)

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額					非支配株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計		
平成28年11月1日残高	1,667	1,759	2,717	△ 4	6,140	△ 78	5	△ 100	△ 37	△ 210	3	5,933
連結会計年度中の変動額												
剰余金の配当	—	—	△ 73	—	△ 73	—	—	—	—	—	—	△ 73
親会社株主に帰属する 当期純利益	—	—	350	—	350	—	—	—	—	—	—	350
自己株式の取得	—	—	—	△ 0	△ 0	—	—	—	—	—	—	△ 0
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額 (純額)	—	—	—	—	—	279	△ 5	23	38	336	0	336
連結会計年度中の 変動額合計	—	—	276	△ 0	276	279	△ 5	23	38	336	0	613
平成29年10月31日残高	1,667	1,759	2,994	△ 4	6,417	200	—	△ 76	1	125	3	6,546

個別財務諸表

貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当事業年度末 平成29年10月31日現在	前事業年度末 平成28年10月31日現在
資産の部		
流動資産	1,800	1,480
固定資産	9,421	7,873
有形固定資産	3,241	3,211
無形固定資産	4	5
投資その他の資産	6,175	4,655
資産合計	11,221	9,354
負債の部		
流動負債	1,060	975
固定負債	3,630	2,459
負債合計	4,690	3,435
純資産の部		
株主資本	6,330	5,926
資本金	1,667	1,667
資本剰余金	1,765	1,765
利益剰余金	2,897	2,493
自己株式	△ 0	△ 0
評価・換算差額等	200	△ 8
その他有価証券 評価差額金	200	△ 13
繰延ヘッジ損益	—	5
純資産合計	6,531	5,918
負債及び純資産合計	11,221	9,354

損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当事業年度 平成28年11月1日から 平成29年10月31日まで	前事業年度 平成27年11月1日から 平成28年10月31日まで
売上高	667	675
売上原価	100	103
売上総利益	567	571
販売費及び一般管理費	426	401
営業利益	141	170
営業外収益	213	100
営業外費用	54	145
経常利益	300	125
特別利益	93	123
特別損失	25	57
税引前当期純利益	368	192
法人税等	△ 110	10
当期純利益	478	181

株主資本等変動計算書 (平成 28 年 11 月 1 日から平成 29 年 10 月 31 日まで)

(単位：百万円)

	株主資本									評価・換算差額等				純資産 合計
	資本金	資本剰余金		利益準備 金	利益剰余金			自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等 合計		
		資本準備 金	資本剰余 金合計		その他利益剰余金								利益剰余金 合計	
					固定資産 圧縮積立金	別途積立金	繰越利益 剰余金							
平成 28 年 11 月 1 日残高	1,667	1,765	1,765	53	622	1,000	817	2,493	△ 0	5,926	△ 13	5	△ 8	5,918
事業年度中の変動額														
剰余金の配当	—	—	—	—	—	—	△ 73	△ 73	—	△ 73	—	—	—	△ 73
当期純利益	—	—	—	—	—	—	478	478	—	478	—	—	—	478
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—	—	—	△ 0	△ 0	—	—	—	△ 0
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	214	△ 5	208	208
事業年度中の変動額合計	—	—	—	—	—	—	404	404	△ 0	403	214	△ 5	208	612
平成 29 年 10 月 31 日残高	1,667	1,765	1,765	53	622	1,000	1,221	2,897	△ 0	6,330	200	—	200	6,531

会社概要 / 株式情報

会社概要（平成 30 年 1 月 25 日現在）

会社の概況

商 号	株式会社ウイルコホールディングス Wellco Holdings Corporation
設 立	昭和 54 年（1979 年）5 月
代 表 者	代表取締役会長兼社長 若林 裕紀子
資 本 金	16 億 6,762 万円
本 社 所 在 地	石川県白山市福留町 370 番地
事 業 所	本社 東京事務所
重 要 な 子 会 社	株式会社ウイル・コーポレーション 株式会社関西ぼど 株式会社ウィズコーポレーション

株式情報（平成 29 年 10 月 31 日現在）

株式の状況

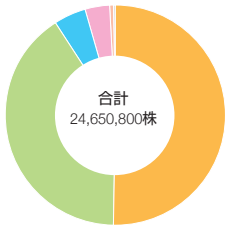
発行可能株式総数	76,600,000 株
発行済株式総数	24,650,800 株
株主総数	1,857 名

大株主

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
有限会社わかさ屋	4,800,000	19.47
若林 和芳	4,786,160	19.41
若林 裕紀子	1,920,000	7.79
株式会社日本創発グループ	1,200,000	4.86
株式会社桂紙業	1,000,000	4.05
大日精化工業株式会社	960,000	3.89
ウイルコ役員持株会	956,800	3.88
株式会社北國銀行	720,000	2.92
ウイルコ従業員持株会	580,516	2.35
大和輸送株式会社	504,000	2.04

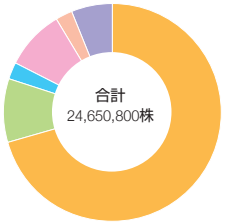
(注)持株比率は自己株式を控除して計算しております

株式分布状況（所有者別）



個人・その他 (50.49%)	12,446,113 株
その他国内法人 (40.50%)	9,984,800 株
金融機関 (4.61%)	1,137,000 株
証券会社 (3.77%)	928,605 株
外国個人・外国法人 (0.61%)	149,594 株
自己株式 (0.02%)	4,688 株

株式分布状況（所有数別）



500,000 株以上 (70.70%)	17,427,476 株
100,000 株以上 500,000 株未満 (9.36%)	2,305,900 株
50,000 株以上 100,000 株未満 (2.56%)	631,694 株
10,000 株以上 50,000 株未満 (8.84%)	2,179,238 株
5,000 株以上 10,000 株未満 (2.59%)	639,200 株
5,000 株未満 (5.95%)	1,467,292 株

■ 事業年度	毎年11月1日から翌年10月31日まで
■ 定時株主総会	1 月中
■ 基準日	10 月 31 日 その他必要がある場合は、あらかじめ公告して定めます。
■ 株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目 4 番 1 号 三井住友信託銀行株式会社
(郵便物送付先)	〒 168-0063 東京都杉並区和泉二丁目 8 番 4 号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) ※取次事務は三井住友信託銀行株式会社の全国各支店で行っております。
■ 公告の方法	電子公告により当社ホームページ (http://www.wellco-corp.com/) に掲載します。 ただし、事故その他やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

■ 住所変更、単元未満株式の買取のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。